

おかとみ



～自ら考え正しく判断し
実践できる子どもの育成～

延岡市立岡富小学校通信

令和8年3月 文責 校長 黒木 将人



令和7年度もチャレンジした岡富小！ご協力ありがとうございました

常に子ども達に伝え続けたことが「失敗してもいいからチャレンジしよう」でした。学習に普段の生活に行事に・・・子ども達はよくがんばり、本当によくチャレンジした1年でした。成長を感じています。

しかし、結果が伴うことばかりではありません。うまくいかないことやつまづくこともたくさんあります。子どもですから、失敗もやらかします。だからこそ、その都度、大人が教え、励まし、また歩ませることの方が大切です。今年度も多くの地域や保護者の方に協力いただき、みんなによってたかって岡富っ子を育ててもらい、ありがとうございました。令和7年度、岡小3つの成果を紹介します。

① ICTによる学力向上

岡富小は今年、文部科学省より「DX研究認定校」の指定を受け、岡富中、延岡小とともにタブレットを中心とした効果的な活用について取り組みました。その結果、1年生から6年生まで文具と同様普段使いになり、発表、意見交換、ドリル等でうまく使っています。学びの方法だけでなく、学力の定着・向上にもつながっています。



② 保護者・地域の協力と子どもの主体性

報道やHPでご覧になっていると思いますが、今年もたくさんの方に協力していただきました。家庭科ミシン手伝い、プール補助、サッカー指導、植栽手伝い、体験・探検活動の補助、講話等盛りだくさんでした。おかげさまで「自ら考える」本校の教育目標に向けた取組が充実し、各学年で段階的に主体性が育っています。

学びの集大成となる高学年では、ふるさとの課題解決にチャレンジし、5年生は山下新天街を盛り上げる祭りを自分たちで企画。6年生は熊本城で手作りパンフを用いて延岡PRをしました。たいしたものです。



③ ボランティア

「ゴミ拾いました！」手にいっぱい紙や袋を持って登校する子ども。朝からあいさつ運動や校内清掃をする6年生。下級生のお世話をする上級生。きっかけを与えると、自ら走り出し、たくさんのやさしさをみんなに運んでくれました。これからも子ども達を信じ、一人でも多くのやさしさの輪を広げていきましょう。



今年度の「おかとみ」通信は最終号になります。1年間ありがとうございました。本年度は、学校ホームページのブログ更新に力を入れ、定期通信よりも普段の様子が変わるよう努めました。結果、1日に約900件程閲覧していただいております。次年度も積極的に情報発信し、学校・保護者・地域で共有していきます。ありがとうございました。 ※次ページに保護者アンケート結果掲載